

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 健康長寿課
 担当名: 母子保健担当
 内線: 3426

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S79	新ウェルカムベビープロジェクト			一般会計	衛生費	公衆衛生費	母子衛生費	不妊治療助成費		
事業期間	令和 5年度～	根拠法令	少子化対策基本法 第13条 成育基本法 第5条 母子保健法第5条、9条			針路	04	子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	3
						分野施策	0401	きめ細かな少子化対策の推進	SDGsターゲット	3-1, 3-2, 3-7
1 事業概要	妊娠、出産、不妊に関する正しい知識を思春期の段階から習得を目指し、各々のライフステージに合わせて適切な時期に妊娠、出産を実現できるよう支援する。 ア プレコンセプションケア普及啓発事業 △1千円 イ 不妊・不育症検査費助成事業 53,030千円			5 事業説明 (1) 事業内容 不妊症や不育症の治療を行う方の精神的な負担に関する支援を強化することにより、望む方が治療を継続できる環境を整える。また、不妊・不育症検査費用の一部を助成し、早期に検査を実施できるよう支援する。 ア プレコンセプションケア普及啓発事業 3,372千円 → 3,371千円 イ 不妊・不育症検査費助成事業 83,640千円 → 136,670千円 (2) 事業計画 ア プレコンセプションケア普及啓発事業 健康教育(出前講座)、プレコンセプションケア研修会、県民向け講座の実施 イ 不妊・不育症検査費助成事業 不妊・不育症検査を受けた夫婦に対し助成を行う市町村への補助 (3) 事業効果 正しい知識の普及啓発を行うことにより、若い世代が結婚、子育てを含めたライフプラン形成の意識向上を図る。不妊・不育症検査に対する経済的支援の充実を図ることで、子どもを産み育てる環境整備の推進が図られる。 【活動指標(アウトプット)】 出前講座50件、各種相談窓口設置、研修会・連携会議の実施 【成果指標(アウトカム)】 若いうちから将来の妊娠や心身の健康管理を意識し、望む人が望むときに妊娠出産を実現できる (4) 補正予算の概要 ア 執行節減による減及び助成費が当初見込みを上回ったことによる増 イ 地方創生応援税制寄附金の充当に伴う財源更正						
2 事業主体及び負担区分	【こども家庭庁】 母子保健衛生費補助金 ア (国1/2・県1/2)、(一部県10/10) イ (県10/10)市町村0									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.8人=7,600千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額	
		国庫支出金	寄附金							
決定額	53,029		10,000					43,029	153,781	
現計額	100,752	8,328						92,424		

事業内訳書

事業名	新ウェルカムベビープロジェクト		
単位事業名	プレコンセプションケア普及啓発事業	予算額	△ 1千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1	—	
合計	△1	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△1	—	執行節減による減
合計	△1	—	

単位事業名	不妊・不育症検査費助成	予算額	53,030千円
-------	-------------	-----	----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
寄附金・ 公衆衛生費寄附金	10,000	—	地方創生応援税制寄附金
一般財源	43,030	—	

単位事業名	不妊・不育症検査費助成	予算額	53,030千円
-------	-------------	-----	----------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	53,030	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	53,030	—	不妊検査費助成増加件数分 1,987件 35歳未満加算 1,329件
合計	53,030	—	